

【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確立し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

【2013年度品質目標】

- ・データセンタを有効活用するーデータから情報へ、個人知から組織知へー・BCMS (ISO22301) の認証を得る
- ・ICUを円滑稼働する・外来予約制と救急医療を推進する・24時間訪問看護ステーションを円滑稼働する・初期・後期研修制度の更なる充実を図る・TQC活動の更なる深化を図る・持続成長可能な病院運営をする

ごあいさつ

院長 永井庸次



猛暑の夏も終わりを告げ、はや秋の風情を感じるこの頃となりました。皆様方はいかががお過ごしでしょうか。当院もリニューアル移転後3年を経過しました。

東京五輪の開催も決定し、東日本大震災からの復興も今後いよいよ本格化するものと期待されます。しかし、医療を取り巻く環境はますます深刻化しています。ひたちなか市を含めた常陸太田・ひたちなか二次医療圏の人口あたりの医師数は全国で2番目に低く、もちろん茨城県の中でも最下位です。さらに、通常は病院勤務医数が開業医数の2倍のところが多いのですが、勤務医師数と開業医の先生の比率がほぼ同数で、これは病院の数も少ないし、開業医の先生の数も少ない地域であることを意味します。

しかし、8月から重症集中治療室（ICU）4床の稼働とリハビリの充実度に関し国から認可を得ました。当院では従来から高度治療室（HCU）16床が稼働していますので、各々患者2名、4名に対して看護師を1名以上配置する合計20床の重症患者さん用ベッドが運用されることとなります。当院では循環器、神経内科、消化器外科等、重症患者を診療する診療科も多く、このICUの認可は今後診療の充実の面からも大きく寄与するものと考えています。

また、がん診療に関しては県からがん診療指定病院を認可されていますが、今年国のがん診療対策の大筋が決

まりましたので、2015年には国からがん診療連携拠点病院の認可を受ける計画をしております。その一環として、筑波大学の協力を得て、10月から女性の乳がん専門医・検査技師から成る乳がん専門診療を毎週木曜日に開設します。近年乳がんの患者さんは増加傾向にありますので、是非ご心配な方々は受診していただければと思います。なお、放射線診断医体制の強化と共に、来年の話は鬼が笑うと言いますが、4月から放射線治療医が常勤で赴任しますので、従来からの消化器外科、呼吸器外科、泌尿器科等の内視鏡等の手術の充実を含め、がん診療の充実を是非期待していただきたいと思っております。

一方、院内のことで恐縮ですが、本年4月からデータセンターを立ち上げました。これは院内のデータを有効活用し意味のある情報に再構築し、医師を含めた職員に活用してもらい、医療の質を向上させ満足度を上げるために企画しました。しかし、データセンターの真の顧客は皆様です。今後は患者さんを含めて皆様方にも有効に活用していただけるものを構築していきたいと思っておりますし、当院の診療成績、診断決定プロセス等を皆様に開示し納得していただけるようにしたいと考えています。私はこれこそが本当の意味のインフォームドコンセント、説明責任であると確信しております。その一環として、院内診療情報への人間ドックデータの取り込みと訪問看護を含めた地域連携のIT化も年度内に実施したいと考えています。

最後に、業務革新について一言。この10月から看護部を含めて従来からの業務の全面見直しを行います。ムリ、ムダを省き、重要業務に注力し、質を維持しながら、定時通りに仕事が終わる。このことが職員の満足度向上、ひいては医療の質の改善、皆様方の満足度向上につながるものと思っております。是非今後共温かく見守っていただきたく思います。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

ひたちなか総合病院		総合健診センター																													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																		
		1	2	3	4	⑤					1	②			①	2	3	4	5	6	⑦							①	②	③	④
10	⑥	7	8	9	10	11	⑫	11	③	④	5	6	7	8	⑨	12	⑧	9	10	11	12	13	⑭	1	⑤	6	7	8	9	10	⑪
	⑬	⑭	15	16	17	18	⑱		⑩	11	12	13	14	15	⑰		⑮	16	17	18	19	20	⑲		⑫	⑬	14	15	16	17	⑱
	20	21	22	23	24	25	⑳		⑱	20	21	⑳	㉑		⑳	㉑	24	25	26	27	㉒		⑲	20	21	22	23	24	㉓		
	27	28	29	30	31				㉒	㉓	26	27	28	29	⑳		㉒	㉓	㉔						㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

インフルエンザ予防接種予約受付のお知らせ ～10月1日(火)より受付開始～

1. 成人対象インフルエンザ予防接種

①インターネットからのご予約

当院ホームページ（サイトトッパーお知らせインフルエンザ予防接種の予約について）からご予約が可能です（24時間受付）。

サイトトッパーURL：

<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

②お電話でのご予約

029-354-5111（代表）にお掛け下さい。

受付時間：平日 8:10～16:40

（時間外、病院休診日は予約をお受けできません）

③直接来院でのご予約

総合受付カウンター内「インフルエンザ予約窓口」でご予約下さい。

受付時間：平日 8:10～16:40

（時間外、病院休診日は予約をお受けできません）

2. 小児対象インフルエンザ予防接種

029-354-5111（代表）にお掛け下さい。

受付時間：月・火曜日 14:00～16:00

金曜日 15:00～16:30

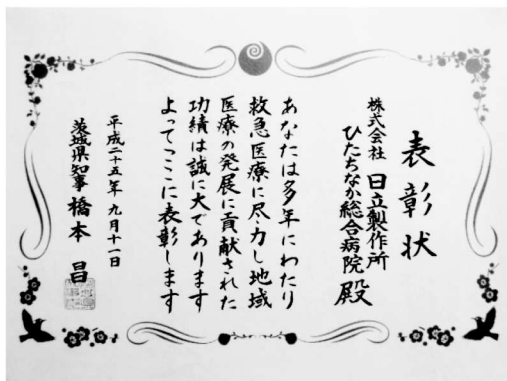
（時間外、病院休診日は予約をお受けできません）



平成25年度 茨城県救急医療功労者知事表彰

「救急の日（9月9日）」にちなみ、平成25年度の茨城県救急医療功労者知事表彰式が9月11日（水）、県庁で開かれ、団体の部において、救急医療に功績があった医療機関として知事表彰を受賞した。

今後も、救急医療に献身的に取り組み、地域医療に貢献できるように全員一丸となって業務に邁進して参ります。



おやつ の 話

総合健診センター 保健師 山崎真由美
食欲の秋、ついつい食べてしまう「おやつ」。おいしい「おやつ」は日々の楽しみでもあります。しかし、食べる量やタイミングに問題があると、体重増加や糖代謝異常を引き起こします。健康を維持し、「おやつ」を楽しむために、ご自身の習慣を見直してみましょう。見直しのポイント・注意点をご紹介します。

①つい食べ過ぎる

食べ過ぎを防ぐためには、買う時が勝負です。小袋や食べ切りサイズを選びましょう。カロリー表示を参考にしてください。買すぎないための「強い心」も大切です。

②なんとなく・口さびしいから食べる

それだけの理由なら、思い切って間食はやめましょう。「食べたい」気持ちは歯磨きや散歩などで忘れませう。また、菓子類は目につかない所に置き、食べたい時にすぐに食べられない環境を作りましょう。

③おなかがすいて・・・

三度の食事はしっかり食べてください。しっかり食べないと中途半端な時間におなかがすきます。できるだけ規則正しく食事をとってください。

④ちょこちょこ食べ・飲み

低カロリーのものでも度重なれば思わぬカロリーになります。さらに、血糖値が下がる間がなく糖代謝異常の原因となります。甘い飲料水や飴なども同様です。「ちょこちょこ食べ・飲み」はやめて、おやつタイムを決めてください。ただし、食事直前や夜遅い時間は避けてください。

⑤お勧めのおやつ

食物繊維の多い寒天ゼリーや油を使っていない焼煎餅です。お茶などの水分と一緒にとると満足感も得られます。

⑥自分を見つめる

体重測定の実行化、定期的な人間ドックの受診などで、自分を見つめてください。体重増加や検査値に異常があれば、間食の見直し時期です。また、食べたなら運動の意識を持ちましょう。

採用・退職医師の紹介

診療科	氏名	異動日
循環器内科	永井直	退職（2013.7.15）
	大澤翔	退職（2013.8.31）
	呉龍梅	退職（2013.9.30）
	川松直人	採用（2013.10.1）
外科	真船太一	退職（2013.9.30）
臨床研修医	織内直毅	退職（2013.9.30）
	丹下善隆	退職（2013.9.30）
	竹田まどか	退職（2013.9.30）
	関野雄太	退職（2013.9.30）
	中田頌子	退職（2013.9.30）
	柳原隆宏	採用（2013.9.1）
	塚田裕伍	採用（2013.10.1）
	佐々木啓太	採用（2013.10.1）
	渡辺憲幸	採用（2013.10.1）